

日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

➤ 来週の日経平均予想

➤ ピーク to ピークから（参照：10月～11月ピーク to ピーク 2023年版）

11月SQ1週間後の終値は33,585.2円でした。ピーク to ピークでのデータでは「11月SQ1週間後の終値は、11月SQ値（32,454.88円）よりも高くなる」でしたので、今回はデータ通りでした。

直近10週間の週単位でのピークtoピークの検証結果						
9月8日	32,921.39(SQ値)	高くなる	9月15日	33,533.09(終値)	○	1.019
9月15日	33,533.09(終値)	安くなる	9月22日	32,402.41(終値)	○	0.966
9月22日	32,402.41(終値)	安くなる	9月28日	31,857.62(終値)	×	0.983
9月28日	31,857.62(終値)	安くなる	10月6日	30,994.67(終値)	○	0.973
10月6日	30,994.67(終値)	高くなる	10月13日	32,360.91(SQ値)	○	0.973
10月13日	32,360.91(SQ値)	高くなる	10月20日	31,259.36(終値)	×	0.966
10月20日	31,259.36(終値)	安くなる	10月27日	30,991.69(終値)	○	0.991
10月27日	30,991.69(終値)	高くなる	11月2日	31,949.89(終値)	○	1.031
11月2日	31,949.89(終値)	安くなる	11月10日	32,454.88(SQ値)	×	1.016
11月10日	32,454.88(SQ値)	高くなる	11月17日	33,585.2(終値)	○	1.035
11月17日	33,585.2(終値)	高くなる	11月24日	?		

(独自作成)

次に来週の予想です。

11月SQ1週間後の値と11月SQ2週間後の値を比較すると、SQ2週間後の値の方が高いパターンは28回中18回ありました(①)。

次に、11月SQ値より1週間後の値の方が高くなるパターンは15回あります。そのうち2週間後の終値の方が高かったというのは12回あります(②)。

①、②より「11月SQ2週間後の値は、11月SQ1週間後の終値(33,585.2円)よりも高くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

➤ 外国人の売買動向（資料：外国人の売買代金、信用残の推移）

11月第1週の外国人は783億円の買い越しでした。これで3週連続の買い越しとなり、この間の累計は2000億円弱の買い越しとなりました。一方先物はこの週だけで1兆438億円の買い越しでした。1兆円以上の買い越しは3月第2週以来です。

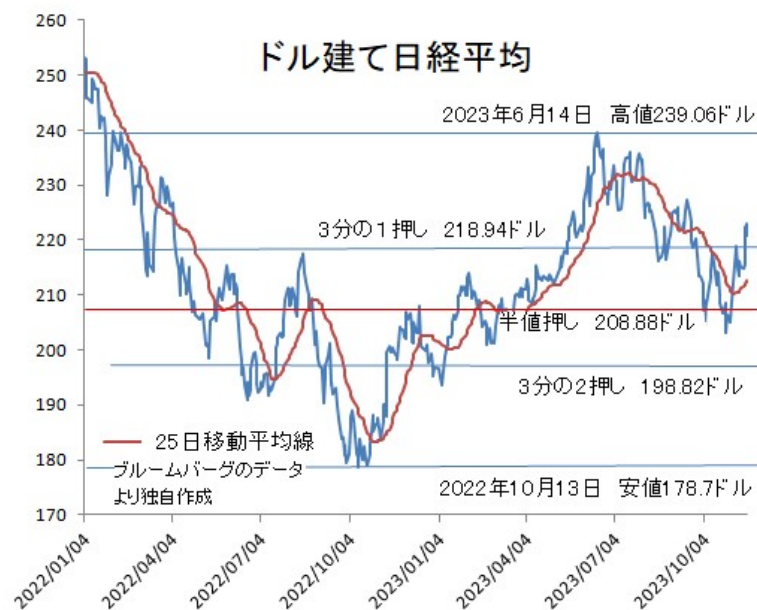
なお先週「**昨年の11月の外国人は、4週間で約1兆3000億円の買い越し、その間日経平均は4%以上の上昇となりました。今回同じ上昇率になれば33,900円です**」と書きましたが、今回は3週間で買い越し額はそれほどではありませんが、上昇率では4.2%と、昨年とほぼ同水準の上昇率となっています。



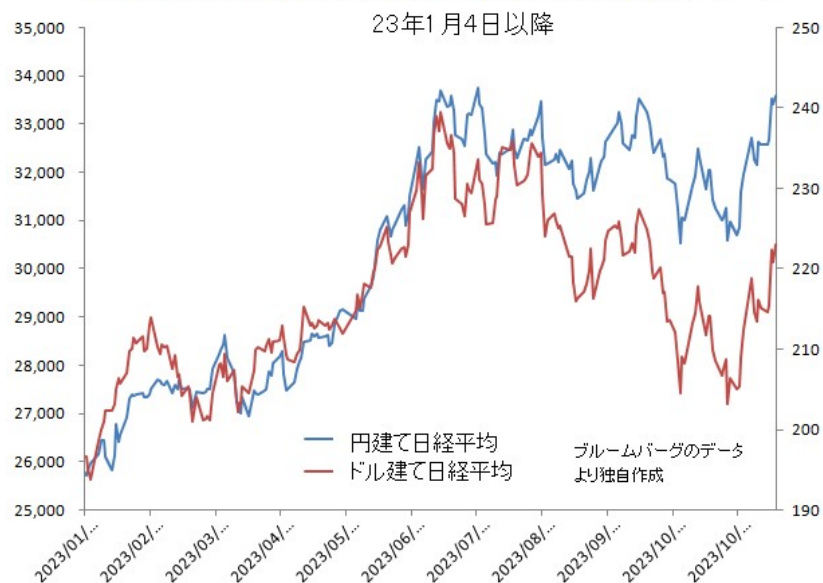
ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

外国人投資家による先物の大幅買い越しが裏付けるように、今週のドル建て日経平均も続伸しました。先週一度跳ね返された3分の1押し水準を突破し、約2か月ぶりに220ドルを超えてきました。ただ7月の高値からの戻りは、円安も重なったことから、円建てに比べると弱いと言えます。



円建て日経平均とドル建て日経平均の比較チャート



ニュース証券株式会社

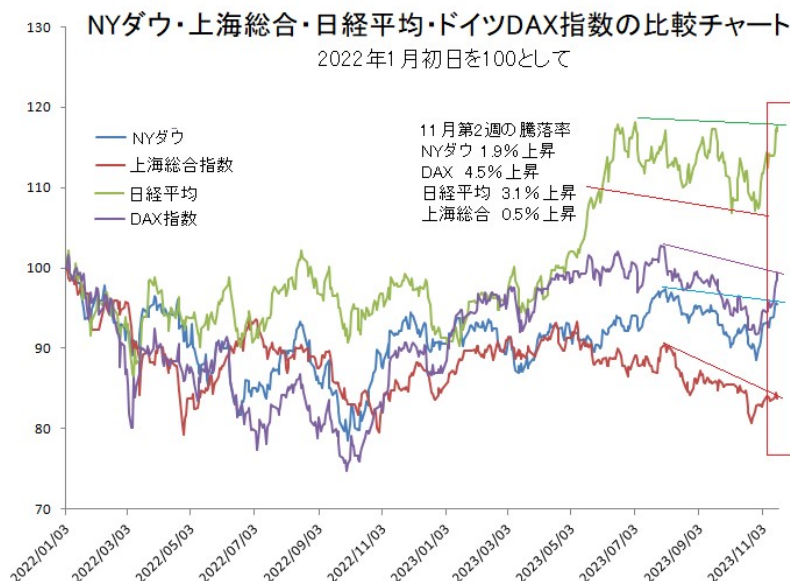
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
 〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会



注目のCPI(消費者物価指数)も予想以上の鈍化を見せ、追加利上げ観測が後退したことから、米国債10年物利回りも約2か月ぶりに4.3%台まで下落しました。この結果日米金利差が縮小し、週初は1ドル152円に迫る勢いだったドル円も、17日には149円台まで下落しました。これで25日移動平均線を下回ってきましたが、7月以降の円安トレンドが終ったと判断するのは早計でしょう。

次に世界のマーケットです。今週も先週、先々週に引き続き3週連続上昇となりました。特にドイツDAX指数は4.5%の上昇と大幅高でした。10月卸売物価指数の下落率が約3年半ぶりの大きさとなり、インフレ緩和の様相を呈してきたようです。世界的に利上げ局面から利下げ局面を見越した動きと言えます。

直近の高値からの戻りを見ると、4指数で傾きが一番きつい(=戻りが弱い)のは、上海総合指数です。もともとほかの市場に比べ不動産危機で10月の落ち込みが大きかったこともあり、今月からの世界的な戻り局面も、中国だけは緩やかにならざるを得ません。また先日のAPECでの習近平・バイデン大統領会談で米中関係が前進するかと思われましたが、その直後バイデン大統領から「独裁者」発言が発せられ、「ちゃぶ台返し」「ダメだこりゃ」状態です。バイデン氏も来年の大統領選を控え、国内向けには強気姿勢を見せたのでしょうか…。

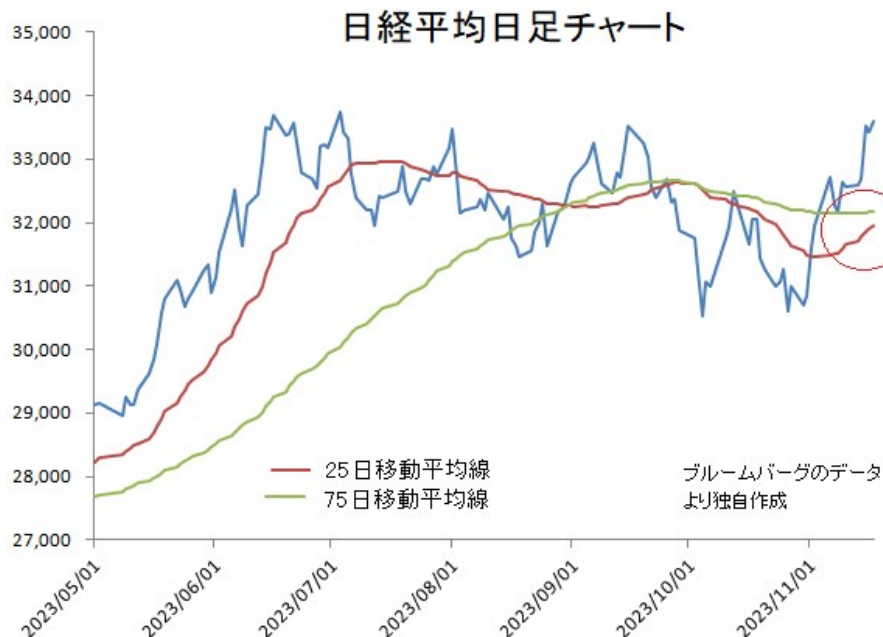


ニューズ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

➤ チャート分析

今週の日経平均は 1017 円高と、3 週連続の上昇となりました。なお 3 週間の累計上昇幅は 2,593 円、高値も 16 日に 33,614 円と、9 月 15 日の高値 33,634 円にあわずかとなりました。今年の高値は 6 月 19 日の 33,772 円ですが、この水準は完全に射程圏となりました。来週は 25 日移動平均線と 75 日線がゴールデンクロスするでしょうから上昇トレンドはしばらく続きそうです。



2 週間前から「過去 10 年で 11 月がマイナスになったのは 1 回だけ」と書いていましたが、今年もそのデータ通りの動きになったということです。

世界的に再度株高基調が続いていますが、18 日の日経新聞の記事にもあったように、欧米では景気減速や個人消費の冷え込み懸念が出始めています。こういったニュースは要注意だと思います。坂を上っているときはその先の崖が見えないものです。

- ・この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
- ・この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いします。

News 20231120-1



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会